

# 要 旨

## サラウンディングキャンパスにおける 個人適応型インタフェースの構築

清水 雅也

近年の ICT(Information and Communication Technology) の発展に伴い、コンピュータやネットワーク技術が様々な場面で利用され、大学も多くの学生や教職員が履修登録や成績管理などに ICT を利用している。近年では、無線通信や携帯端末を始めとするユビキタスコンピューティング技術を大学へ導入する取り組みがなされており、ユビキタスコンピューティング環境が整備されつつある。ユビキタスコンピューティング環境ではいつでも、どこでも、だれもが情報サービスを享受することができ、ユーザは時間や場所によらず情報サービスを利用することができる。

さらなる情報環境の発展として、コンテキストアウェアな環境を実現することにより、ユーザは状況に応じた情報サービスを取得できるようになる。これにより、ユーザは情報サービス取得のための手間や時間を削減することができる。そこで、我々はコンテキストアウェアな環境を実現するサラウンディングコンピューティングに着目し、サラウンディングコンピューティング技術を大学に適用したサラウンディングキャンパスの提案を行ってきた。

本研究ではサラウンディングキャンパスのシステムの一部として大学で活動するユーザの状況を認識し、ユーザの状況に応じた情報サービスの提供を行う。そして、情報サービスを個人に適応する形式で提供する個人適応型インタフェースを構築する。

キーワード サラウンディングキャンパス, サラウンディングコンピューティング, ユビキタスコンピューティング, コンテキストアウェアネス

# Abstract

## Development of Adaptable Interface to Personal Situation in Surrounding Campus

Masaya Shimizu

In recent years, ICT(Information and Communication Technology) have been introduced in many places in the world. Students and teachers use ICT for management of registration and academic results. Moreover, Ubiquitous Computing environment has been applied to information environment of universities by utilizing Wireless-communications technology and personal digital assistance. By utilizing Ubiquitous Computing environment, users of universities can acquire information services always anywhere.

Context Aware environment develops information environment more. Context Aware environment provides information services that users need in situation of users. Therefore, time and labors are reduced for users to acquire information services.

We focused on Surrounding Computing which realizes Context Aware environment. We developed Surrounding Campus which applied Surrounding Computing to university. In this research, we develop Adaptable Interface to Personal Situation in Surrounding Campus.

**key words** Surrounding Campus , Surrounding Computing , Ubiquitous Computing , Context Awareness